

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和2年3月6日

事業所名:児童発達支援事業所 まふいん

保護者等数(児童数)22人

回収数 18人(未回答)

割合 82 %

	チェック項目	ご意見			ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらともいえない	いいえ		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17			活動スペース(静・動)、学習スペースを活動内容に応じて使い分けています。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17			全職員が、保育士または教員の資格保持者であり、作業療法士や音楽療法士の指導を受けています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16		1	車いす、装具などを必要とする利用者がいる場合に環境を整え、障害特性に応じた対応ができるように配慮致します。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17			日々の清掃を徹底しております。室内は極力視覚的刺激を減らし、活動に集中できる環境を整えています。	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ii が作成されているか	16	1		課題に対して日々伝えてもらっており、活動にて反映されている。面談にてお子様の課題を共通認識のうえで個別の支援計画を策定してまいります。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14		3	本人の発達に合わせた支援だけでなく家族や地域支援への取り組みも考慮し計画を立てております。またガイドラインを読み込み更に具体的な支援に活かせるように支援内容を改善致します。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15		2	児童発達支援計画に沿った支援を行い、定期的な反省・評価を行っております。	
	8 活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	16		1	「社会性をのばす」ことを目標に、多様な園外・交流行事活動を企画しています。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	13		4	ナガヤタワー住人との交流や、園外活動の際に交流活動を設けています。	
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17			利用開始時、個別の支援計画見直し時にご説明しております。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	15		2	ガイドラインを読み込み、お子様の発達段階を踏まえたうえで今後も計画書を作成して参ります。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われているか	13	1	1	2	療育活動と合わせ面談や連絡帳、電話などでの保護者支援を心がけております。ペアレントトレーニング研修にも参加し、適切な家族支援を行えるよう努めます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	17				おたより、タブレット・ブログ・メール・連絡帳などを活用し、お子様の姿をお伝えするよう努めております。
保護者への説明等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16		1	計画更新時やその他必要に応じて面談などを実施しております。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	5	1	4	園長と保護者でお茶会などをしていたときは保護者同士仲良くなったが今はないのでそこまで仲良くはない。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17				苦情解決委員会(詳細はHPにも掲載)などを設置し対応しています。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17				連絡帳などに目を通したら確認印なりみてもらったことを分かるようにしてほしい。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15			2	ブログもこまめに更新されており活動内容を知ることができる。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	17				ホームページやまふいん便りにて発信しております。今後も日々の活動の様子を皆様にごわかりやすくお伝え致します。
	20 写真や業務上知りえた情報の管理について職員会で定期的に確認しているか	17				写真や業務上知りえた情報の管理について職員会で定期的に確認しています。
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12	1		4	今年度は防犯訓練・避難訓練を実施しました。閲覧用マニュアルを早急に整備いたします。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	1		3	ナガヤタワーと合同の避難訓練を実施しております。R元年度2月は洪水被害の避難訓練を行いました。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	17				○仲良しのお友達ができるのもっと楽しいことが増えていくと思う。 ○子どもが先生たちの名前を覚えられないので下の名前で呼ぶなど何か工夫してもらえたら...
	23 事業所の支援に満足しているか	17				○毎回の活動説明がありがたいです。 ○子どもの特性をよく理解していただき寄り添った支援をしていただいている。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和2年3月6日

事業所名:児童発達支援事業所 まふいん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			
	2	職員の配置数は適切であるか	6			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1	静と動、学習などの活動の部屋を設けている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	1		衛生面など冬場は特に考慮していく。子どもたちの活動に合わせた空間作りに配慮する。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6		各行事や内部研修の際など次回に活かされるようにPDCAサイクルを活用している	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		評価表によるアンケート結果を基に業務改善に努めている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		ホームページを開設し、日頃の活動報告自己評価表の集計結果の公表を行っている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2		現在は第三者評価は受けていないが、外部講師による指導や、法人内での定期的な事業所評価を行っている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		職種、職責に見合った研修の機会を設け積極的に派遣している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		保護者との面談を行い、児童の現状を把握したうえで個別支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		児童発達、放課後等デイサービスそれぞれに適したアセスメントツールを作成している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	1		児童発達支援ガイドラインを全職員で閲覧し、個別支援計画作成時には各項目を確認しながら作業を行う。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		定期的なモニタリングを行いその都度確認している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			話し合いの場を設け、活動プログラムの作成を行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		利用児の課題を踏まえ工夫を図っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	6		プログラムに応じては個別・集団と使い分けしている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		毎回の活動で確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		毎回の活動で確認している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		毎日、記録を行い保管している。	
関係	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		モニタリングを行う上で見直す必要があるかも含め職員間で協議している。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		主に児童発達支援管理責任者が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	1	密に連携を行い、日頃から常に連携を行っている。	積極的に公開療育に参加するほか、コミュニティ協議会への参加、所轄課・母子保健課・保育幼稚園課と連携している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				※対象児童なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				※対象児童なし

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
機関や保護者との連携関係	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		保育所等訪問支援を通して密に行っている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		保育所等訪問支援を通して密に行っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	研修の機会を逃さず参加している。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	地域住民の子どもたちと交流を行っている。	今後は同法人、また他施設の皆さんと活動する機会を設けていく。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	1	子育て支援ネットワーク会議などに積極的に参加している。	管理職が参加し、職員会議で情報共有をしている。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1	送迎時に顔を合わせ情報共有を行っている。	その場で解決できない時には別日に面談を行っている。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5	1	個別で面談を行い、助言を行っている。	個別に活動を見学していただき意見交換を行う。また相談があった場合には面談などを実施している。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		契約時に必ず説明を行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		保護者面談を行い、作成された個別支援計画を示しながら同意を得ている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	必要があれば相談に応じ内容を把握したうえで助言を行っている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6		父母の会活動などはないが、定期的な研修の機会を実施し、保護者交流ができるように支援していく。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		できるかぎり迅速に対応するように努めている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		月1回のお便りやホームページの中で発信している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		全職員に個人情報の取り扱い注意点について定期的に注意喚起をしている。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1	ナガヤタワーの皆さんを招待するなど地域を視野に入れた活動を行っている。	より地域に開かれた施設になれるように今後も改善を重ねていく。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		避難訓練などを実施している。	保護者が閲覧できる場所に各マニュアルを配置する。
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		ナガヤタワーと協力し定期的な訓練を行っている。		
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6		契約時に母親から必ず確認を行っている。		
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		現在アレルギー対象の児童はいないが保護者より指摘があった場合には医師の指示書を確認する。	
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		ヒヤリハット報告書を作成し、情報は即時共有、再発防止対策を職員会で確認する。		
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		職員研修を通し施設内虐待などの知識を深めている。		
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか				身体拘束は行わない。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表) 【放課後等デイサービス】

公表: 令和2年3月4日

事業所名: 児童発達支援事業所 まふいん

保護者等数(児童数)22

回収数 14

割合 64%

	チェック項目	どちらともいえない			ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	いいえ			
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	2		大きな子どもたちが動き回るのには少し手狭な気がします。	・活動スペース(静・動)、学習スペースを活動内容に応じて使い分けています。 ・活動によりスペースを確保できるように間仕切りを開放致します。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	3		・職員の方が変わったので自己紹介プリントなどが欲しい ・以前子どもの困り感に対して茶化すような場面があった。	・新年度、職員紹介のプリントを配布致します。 ・子どもひとりひとりの困り感に寄り添い、真摯に対応致します。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	3			車いす、装具などを必要とする利用者がある場合に環境を整えます。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 i が作成されているか	13	1			面談にてお子様の課題を話し合い共有したうえで個別の支援計画を策定しております。
	⑤ 活動プログラム ii が固定化しないよう工夫されているか	12	2		こちらが行く曜日が決まっているので固定化している時もある。	・「社会性をのばす」ことを目標に、多様な園外・交流行事活動を企画しています。 ・なるべく固定化されないようなプログラム内容を目指します。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12	2		児童館の交流やナガヤタワー以外の園外活動が少なくなった	お出かけなどは安全面に十分対策ができる場合にのみ実施しています。園外活動の在り方については今後も十分検討いたします。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1			利用開始時、個別の支援計画見直し時にご説明しております。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	4			・おたより、タブレット・ブログなどを活用し、お子様の姿をお伝えするよう努めております。 ・面談日を設定し保護者との連携に努めます。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	2			療育活動とあわせ面談・連絡帳を通じての保護者支援を心掛けております。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	7	3	・以前に比べると父母の会や保護者の交流は少なくなった。 ・送迎時、首にかけの保護者カードなどがあればなお良い。	・保護者向け研修を通して保護者の皆様と交流できるよう接点を設けます。 ・保護者カードに関しましては職員間でも検討致します。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	5		他保護者からもう少し細目に対応してほしいとの声を聞く。	お子様ひとりひとりを丁寧にケアしていけるよう、職員間でも留意しながら支援をすすめて参ります。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	3		時々ですが子どもと職員だけで話が決まっている時があるので親、子ども、職員3者で話し合い方向性を決めてほしい	・連絡帳、メール、電話などの連絡手段または面談を通じ、可能な限り意思疎通ができる体制をとるよう努めております。 ・保護者の方との連携を密に行います。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	1	1		ホームページやまふいん便りにて保護者へ発信しております。また送迎時にも声掛けを行っております。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	13	1			写真や業務上知りえた情報の管理について職員会で定期的に確認しています。
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	4		コロナウイルスによる感染が心配だ。	マニュアル等を整備し、周知できるように張り出します。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	1			ナガヤタワーと合同の避難訓練を実施しております。令和元年度2月には洪水被害の避難訓練を行います。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	12	2		楽しみにしているが時々緊張している。配慮してほしい。	十分に配慮した上で対応致します。子ども達がまふいんを楽しみつつ成長していけるよう職員一同、全力でサポート致します。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	12	2			全職員一丸となつてできる限りの支援を今後も行います。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:

令和2年3月4日

事業所名:

児童発達支援事業所 まふいん

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6				
	2 職員の配置数は適切であるか	6			資格保持者を採用し、子どもの人数に適した配置を行っている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			現在、車いすなどの利用はないが段差をなくした環境を整備している。	
業務改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			改善案があった場合など全職員で対応を行っている。	より効率化を意識した業務改善を模索し、取り組んでいる。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6				事業所評価アンケートの結果を真摯に受け止め改善の余地がある場合は速やかに改善していく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページ上にて掲載を行う。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1		療育アドバイザーによる外部評価を実施し、活動内容などの改善に努めている。	
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6				年間研修計画を立て、個々人の資質向上と事業所の質の向上に取り組んでいる。福祉業界の研修だけでなく他の研修にも参加することで新しい見方を備えていく。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1			全職員がアセスメントできるように教育し情報の共有を図ったうえでサービス計画を作成していく。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6				
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	1	既存のプログラムだけでなく、新たな活動を職員ひとりひとりが模索している。	個人でなく全体で話し合える時間を確保し、プログラムの立案を行う。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		園内外のプログラムに関して新たな手法を取り入れながら日々進化できるように努めている。	内部研修などを踏まえ実践研究を行っている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			長期休暇ならではの課題を設定し活動を行っている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			個別で行う支援と集団で行う支援を区別化し状況に応じてサービス計画を作成している。	
	15 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			毎活動、入念な打ち合わせを行い確認している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			毎活動、具体的な振り返りを行い、改善点まで出したうえで次の活動に活かしている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				
関係 機関 や保 護者 との 連携 関係	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1			モニタリングの際には具体的な得喪と現状でのアセスメントを照らし合わせサービス計画を作成していく。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1			全職員にガイドラインの閲覧を徹底させガイドラインに沿った支援を行う。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			保育所等訪問支援を活用し顔を合わせることで、信頼関係を築いている。情報共有に関しては密に行っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					医療的ケアが必要な子どもを受け入れていない
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1			必要があれば行っている。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5		1		現在までそのような例はないが必要があれば今後も行っていく。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1		センター主催の研修にはできるだけ参加し情報共有を行っている。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6			夏休みや冬休みなどを使って接する機会を提供している。	
27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	1	2		特定の職員だけ研修に参加するのではなく、全職員が参加する体制を整える。	
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1		日々の活動に関して送迎時や連絡帳を使って共通理解を行っている。		
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	2		ペアレント・トレーニング研修を始め、保護者に向けた研修の機会を今後提供していく。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		1		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6				
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	3	保護者会はないが、個別に対応し支援を行っている。	保護者向け研修を設定し、その中で保護者同士の連携を支援する試みを行う。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6				
	35 個人情報に十分注意しているか	5	1		職員会で定期的に個人情報の取り扱いについての注意喚起をするほか、事業所内での2重3重のチェック体制を整えている。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6			ナガヤタワーなどの地域資源を通して地域に開かれた事業所を目指している。	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6				保護者にも周知できるようにさらに体制を整えていく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			計画的に訓練を行っている。	近隣事業所とも協力した訓練を実施し、非常時にスムーズに移動できるように計画を立てる。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				外部への研修参加だけでなく内部研修も行い、さらなる理解を深める。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか					
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		1		今後、アレルギーのある児童について確認を行い、万が一の場合にすぐに連絡がとれる体制を整えていく。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			ヒヤリハット記録簿を作成し、共有している。また、再発防止策を事業所全体で確認している。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。